

のギャラリーの蔵書も大変面白かったのですが、一番印象に残ったのは、一階に展示されていた2004年にベニスで開催されたOTAKU: persona = space = cityをテーマにした世界的会合で披露されたコミケのサークルカットを配置した模型です。サークルカット、いわゆるサクカに描かれている作品の数々に年代を感じることは勿論なのですが、『テニスの王子様』の手広さに驚きました。隣接する『BLEACH』や『ONE PIECE』も参加サークル数は多いのですが、圧倒的な『テニスの王子様』。あそこも、これも、王子様。この王子様たちは一体どこまで行くのかと思った程度でした。他にも、お誕生日席と呼ばれることの多い部分にサークルが並び立っていた点が意外でした。赤ブーが開催する即売会では1または2サークル程度の部分に4も5もサークルが並ぶほどで、夏場にこのぎゅうぎゅう度合い、制汗剤等のCMにびったりなのではないかと思いました。

以上が私のアキバ見学の感想です。稚拙な文ではありますが、少しでも私が見たアキバの一味違う空気感、オタクカルチャーの有り様を感じて頂ければと思います。

島川ゼミナール活動報告 「観光の現地現場にこだわる」

国際日本学部 国際文化交流学科 観光文化コース
3年 渡邊 真子

私たち島川ゼミナールは、半期の間様々なことに取り組み、学際的な学びを深めてきた。本稿では、他にはないゼミナール活動の全容を紹介していきたいと思う。

【JR東日本×南伊豆町役場×島川ゼミナール 産学連携プロジェクト「南伊豆観光振興を考える」】

突然だが、南伊豆町に訪れたことがある読者はどのくらいいるのだろうか。静岡県東部伊豆半島の最南端に位置する南伊豆町。横浜から電車で行くとすると、熱海や伊東を通り過ぎ伊豆急下田駅に着いたら、そこからはバスや車で移動するというのが基本的なルートとなっている。この一連の移動に合計で三時間ほどかかり、横浜から南伊豆町との間に熱海や伊東などといった有名観光地があるため、南伊豆に至る手前が最終目的地となっている人も多いのではないだろうか。実際、JR東日本が私たちとブレゼミナール生を対象に取ったアンケートでは、「南伊豆町に行ったことがない」「よく知らない」という人が少なくなかった。そうした現状を抱えている南伊豆町を観光の視点からどのように振興させるかということが本プロジェクトの目的であり、JR東日本の販売促進課で観光開発をしている方々と、半期の間考察を重ねてきた。また、岡部克仁南伊豆町長をはじめとする町役場の方々も全面的に協力してくださっているため、私たちは自由な発想でプロジェクト提案を考えることができていた。

私たちが観光振興を考えるにあたり、元藤沢市長の海老根靖典さんが「地方自治体の経営



JR東日本さんによるレクチャー（この方も14年前の島川ゼミ卒業生）

と地域活性化において大切なこと」をテーマに特別講義をしてくださった。その中でも印象的だった言葉がある。それは、「答えは現地現場に落ちている」という言葉だ。インターネットの普及により、大抵のことは調べれば何でも分かる時代になった。それはそれでありがたいことだが、やはり現地現場に赴いて自身の肌で感じることでしか知り得ないこともあるだろう。頭の中で考えたイメージだけでは現実性に欠け、机上の空論になってしまう恐れがあるということも危惧しているのだ。当たり前のことかもしれないが、基本に立ち返った時にとっても大切なことなのではないかと感じた。私たちは、プロジェクトの一環として夏休みに南伊豆町を訪れる。その際、現地現場に行ったからこそ分かったことを大切にしながら、その地域の観光振興を考えていきたいと思っている。

そして、そういったお話や島川教授のアドバイスを踏まえ、私たちは四つのチームに分かれ、「ソロキャンプ」「Googleストリートビュー」「鉄道とバスのおすすめな接続」「民宿の魅力発信戦略」の方向性からプロジェクトの提案を考えている。現地訪問を終えてから行う具体的な提案の報告をぜひ楽しみにしてほしい。

【「旅行業、公務員、観光エンタテインメント それぞれの道へ」】

私たち島川ゼミナールでは、大学卒業後の進路を見据えて「旅行業志望組」「公務員志望組」「観光エンタテインメント志望組」の三つの部門に分かれ、授業時間内外に徹底対策を行っている。

まず「旅行業志望組」は、総合旅行業務取扱管理者の資格取得に向け、JTB総合研究所の課外授業と、

島川教授からのポイントを押さえた指導を受け、「全員合格」を目標に掲げ日々試験勉強に励んでいる。総合旅行業務取扱管理者資格は国家資格の一種であり、この資格の保持者は、旅行業者の営業所で顧客と旅行取引をする際、国内と海外両方の旅行商品の取引における責任者となることができる。つまり、有資格者は旅行会社等において重宝されるため、旅行業界を志す学生は、就職活動に向けて現段階から取り組んでいる。

「公務員志望組」は、特定の地域の活性化に貢献したい学生や、地元に戻って観光まちづくりを行いたい学生が集まっている。9月に日光市を訪問し、市役所で観光政策のレクチャーを受け、地元の観光まちづくりNPOの方々とディスカッションをすることを予定している。また、後期には神奈川県観光課と連携して、観光政策を実地で学ぶ実習も予定している。そして、そこで得た知見を実際に自分のフィールドで生



ハイアットリージェンシー横浜でアフタヌーンティー



リーダーシップとチームワークを実地で学ぶ八景島ヨット研修

かすべく、地方自治体職員になるための公務員試験対策をチーム一丸となって取り組んでいる。

また「観光エンタテイメント志望組」は、イベントのMCや番組のナレーターを養成・派遣している会社に登録をし、アナウンススキルを習得すべく研修に励んでいる。そして、大学の夏休み期間中は精力的に研修に取り組み、3年生の後期には何かしらの形で現場に出るということを目指している。筆者はこの部門に該当しているのだが、将来的に添乗員として働くことも視野に入れているため、人前で堂々と話し、お客様に喜んでいただくことをさらに極めていきたいと考えている。

このような三つの部門に分かれてそれぞれの道に向かって対策を行っているが、最終的には皆旅行業・観光分野に携わりたいという共通の思いのもと、日々勉強や研修に取り組んでいる。

以上、島川ゼミナールの紹介をしてきたが、本ゼミナールが他にはない活動をたくさん行っているということが分かっていただけただろう。今後ぜひ、私たちの取り組みに注目してほしい。



全員集合

プラスアイ編集スタッフ募集中！

人文学会学生部会発行の「PLUSi」の企画・編集に携わりませんか？
月に2回ミーティングを開催しています（主にみなとみらいキャンパス）。
詳しくは <http://human.kanagawa-u.ac.jp/gakkai/intro/index.html> まで
また秋には「学生文化奨励賞」も開催しますので、奮ってご応募ください。



PLUSi Alius VOL.1

編集・発行

制作協力

2022年9月30日発行

神奈川大学 人文学会学生部会 PLUSi 編集部
(株) 図書出版